

# 答 申 書

## 桜川市立小中学校適正配置基本計画

平成25年 3月

桜川市立小中学校適正配置計画策定委員会

# 桜川市立小中学校適正配置基本計画

桜川市立小中学校適正配置基本計画は、桜川市立小中学校適正規模等検討委員会の答申（平成22年1月、以下「答申」という。）に基づき、今後10年間の学校適正化の具体化に向けた基本方針を示すもので、その後、児童生徒数の推移、社会情勢、法制度の変更等を考慮し、見直していくものとする。

## 【1】適正規模

- |       |          |                   |
|-------|----------|-------------------|
| ・ 小学校 | 1学年1学級以上 | 1学年1学級となる場合は15人以上 |
| ・ 中学校 | 1学年2学級以上 | 1学級20人以上          |

適正規模に関しては、学校教育法施行規則や茨城県指針により基準が示されているが、桜川市の現状、地域性、答申等を考慮し、桜川市としての適正規模を定めるものである。

小学校は、県で実施している1・2学年は35人学級である。しかし、36人の場合は2学級となりその最小人数が18人となることを目安に、4人×4グループに分けての学習環境や、運動会などの行事での必要最小人数等を考慮した結果、本市における適正規模は15人以上とするものである。

中学校は、県は1学年3学級としているが、当市においては、教科担任制、部活等を考慮し、1学年2学級以上、1学級20人以上とするものである。

## 【2】適正配置の手法

適正規模に達しないことが予想される学校を適正配置の対象校とし、適正規模を確保するための手法を定めるものである。

### (1) 複式学級の解消

複式学級を有する学校は、その解消を図る。

### (2) 中学校区を基本とする統合

小学校の統合の対象校は、現在の中学校区を基本とする。

適正規模の確保には、統廃合のほか学区の再編が考えられるが、桜川市の現状では小規模校が多く、学区の調整によって将来的に安定した規模を確保することは困難である。（資料4～9頁参照）

### (3) 既存施設を活用しての統合

新設による統合は原則行わず、既存施設を活用しての統合を基本とする。

施設老朽化等による改築（新築）の必要が生じたときは、適正規模に関わらず、統合について積極的な検討をし、改築（新築）の規模等を考慮する。

(4) 対等な統合

既存施設を活用しての統合が基本ではあるが、統合先の校舎となる学校に吸収される形態ではなく、対象となる学校が対等の形態が取れるよう配慮する。

(5) 中学校の統合

当面、適正規模を維持していくと推測できるが、適正規模を下回った場合は、旧町村の枠を越えた統合や小中一貫校の新設等、多方面から検討する必要がある。

**【3】 適正配置の留意点**

適正配置の実施にあたっては、地域の実情や問題点などを考慮し、保護者や地域住民の理解と協力を求める必要がある。また、以下のことに留意し、児童生徒はもとより保護者や地域住民の不安解消を図っていく。

(1) 統合前の連携事業

統合が行われた場合、人間関係や学習環境が大幅に変化した中で生活することになるため、事前の交流活動（授業や行事等）を計画的・積極的にを行い、児童生徒の不安・動揺の解消を図る。

(2) 安全の確保

統合により、通学区域が広域化するため、通学距離、通学時間が児童生徒に与える影響、安全、教育活動への影響などを考慮し、通学交通手段の検討や通学路の安全対策等を進める。

(3) 跡地（施設）の有効活用

統合に伴う学校施設等の跡地利用については、施設の状況や地域住民の意見を十分考慮しながら、地域活性化のために有効活用が図れるよう検討する。

**【4】 小中一貫教育の推進**

答申で指摘のあった小中一貫教育の推進については、県内において小中一貫教育に取り組む事例が増えつつあり、桜川市においてもそれらの事例を研修しつつ、連携型一貫教育を主に、モデル校を設定して検証を行うなどして、積極的に取り組む必要がある。（資料11～12頁参照）

# 資 料 編

# 桜川市立小中学生、児童・生徒数推移表

	桜川市立小学校児童数							桜川市立中学校生徒数				合計	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計		
平成22年度	403	396	413	464	476	427	2,579	428	436	454	1,318	3,897	H15.4.2～H16.4.1生
平成23年度	397	402	399	411	469	475	2,553	416	426	436	1,278	3,831	H16.4.2～H17.4.1生
平成24年度	335	393	399	397	413	468	2,405	471	415	425	1,311	3,716	H17.4.2～H18.4.1生
平成25年度	366	335	393	399	397	413	2,303	469	477	415	1,361	3,664	H18.4.2～H19.4.1生
平成26年度	352	366	335	393	399	397	2,242	413	469	477	1,359	3,601	H19.4.2～H20.4.1生
平成27年度	336	352	366	335	393	399	2,181	399	413	469	1,281	3,462	H20.4.2～H21.4.1生
平成28年度	325	336	352	366	335	393	2,107	402	399	413	1,214	3,321	H21.4.2～H22.4.1生
平成29年度	425	325	336	352	366	335	2,139	397	402	399	1,198	3,337	H22.4.2～H23.4.1生
平成30年度	285	425	325	336	352	366	2,089	333	397	402	1,132	3,221	H23.4.2～H24.4.1生
平成31年度	275	285	425	325	336	352	1,998	366	333	397	1,096	3,094	H24.4.2～H25.4.1生
平成32年度	268	275	285	425	325	336	1,914	352	366	333	1,051	2,965	H25.4.2～H26.4.1生
平成33年度	257	268	275	285	425	325	1,835	336	352	366	1,054	2,889	H26.4.2～H27.4.1生
平成34年度	254	257	268	275	285	425	1,764	325	336	352	1,013	2,777	H27.4.2～H28.4.1生
平成35年度	250	254	257	268	275	285	1,589	425	325	336	1,086	2,675	H28.4.2～H29.4.1生
平成36年度	245	250	254	257	268	275	1,549	285	425	325	1,035	2,584	H29.4.2～H30.4.1生
平成37年度	240	245	250	254	257	268	1,514	275	285	425	985	2,499	H30.4.2～H31.4.1生
平成38年度	235	240	245	250	254	257	1,481	268	275	285	828	2,309	H31.4.2～H32.4.1生
平成39年度	230	235	240	245	250	254	1,454	257	268	275	800	2,254	H32.4.2～H33.4.1生
平成40年度	225	230	235	240	245	250	1,425	254	257	268	779	2,204	H33.4.2～H34.4.1生

○平成22年度から平成30年度までの小学1年生の数字は、平成15年4月2日から平成24年4月1日までの出生児数である。

○平成22年度から平成24年度は児童及び生徒の実数である。

○平成25年度からは平成23年9月30日現在の住民登録している小学校区の人数である。

○グラフは各学校の小計を学校ごとに中学校区で表したものである。

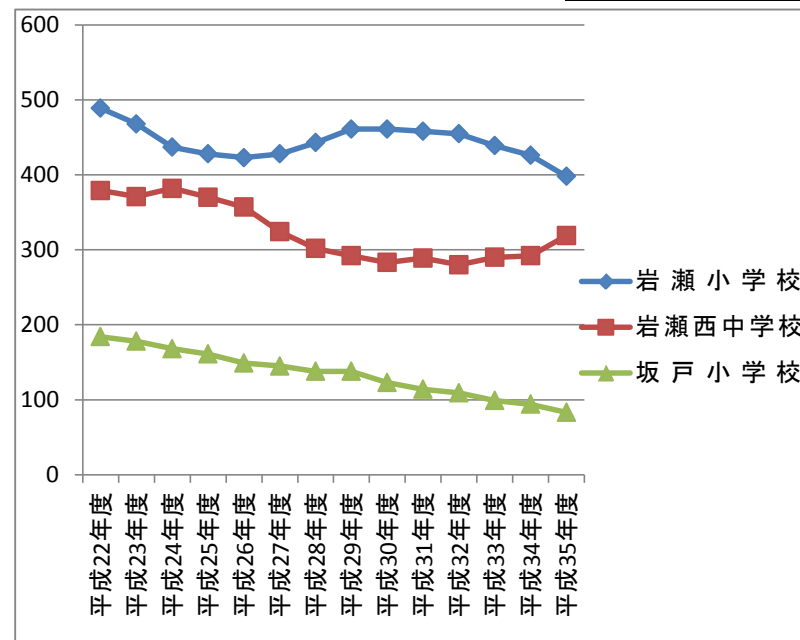
○平成31年度以降の児童数及び生徒数は推計値である。

# 岩瀬西中学校区、児童・生徒数推移表

	岩瀬小学校						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計
平成22年度	63	74	75	80	101	96	489
平成23年度	74	63	76	75	80	100	468
平成24年度	69	74	63	76	75	80	437
平成25年度	71	69	74	63	76	75	428
平成26年度	70	71	69	74	63	76	423
平成27年度	81	70	71	69	74	63	428
平成28年度	78	81	70	71	69	74	443
平成29年度	92	78	81	70	71	69	461
平成30年度	69	92	78	81	70	71	461
平成31年度	68	69	92	78	81	70	458
平成32年度	67	68	69	92	78	81	455
平成33年度	65	67	68	69	92	78	439
平成34年度	65	65	67	68	69	92	426
平成35年度	64	65	65	67	68	69	398
平成36年度	61	64	65	65	67	68	390
平成37年度	61	61	64	65	65	67	383
平成38年度	59	61	61	64	65	65	375
平成39年度	58	58	61	61	64	65	367
平成40年度	57	58	58	61	61	64	359

	岩瀬西中学校				児童生徒数合計
	1年生	2年生	3年生	小計	
平成22年度	123	128	128	379	1,052
平成23年度	122	123	126	371	1,017
平成24年度	137	122	123	382	987
平成25年度	111	137	122	370	959
平成26年度	109	111	137	357	929
平成27年度	104	109	111	324	897
平成28年度	89	104	109	302	883
平成29年度	99	89	104	292	891
平成30年度	95	99	89	283	867
平成31年度	95	95	99	289	861
平成32年度	90	95	95	280	844
平成33年度	105	90	95	290	828
平成34年度	97	105	90	292	812
平成35年度	117	97	105	319	800
平成36年度	80	117	97	294	770
平成37年度	83	80	117	280	747
平成38年度	82	83	80	245	702
平成39年度	79	82	83	244	692
平成40年度	79	79	82	240	679

	坂戸小学校						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計
平成22年度	26	27	32	31	36	32	184
平成23年度	25	26	28	32	31	36	178
平成24年度	26	25	26	28	32	31	168
平成25年度	24	26	25	26	28	32	161
平成26年度	20	24	26	25	26	28	149
平成27年度	24	20	24	26	25	26	145
平成28年度	19	24	20	24	26	25	138
平成29年度	25	19	24	20	24	26	138
平成30年度	11	25	19	24	20	24	123
平成31年度	15	11	25	19	24	20	114
平成32年度	15	15	11	25	19	24	109
平成33年度	14	15	15	11	25	19	99
平成34年度	14	14	15	15	11	25	94
平成35年度	14	14	14	15	15	11	83
平成36年度	14	14	14	14	15	15	86
平成37年度	13	14	14	14	14	15	84
平成38年度	13	13	14	14	14	14	82
平成39年度	13	13	13	14	14	14	81
平成40年度	13	13	13	13	14	14	80



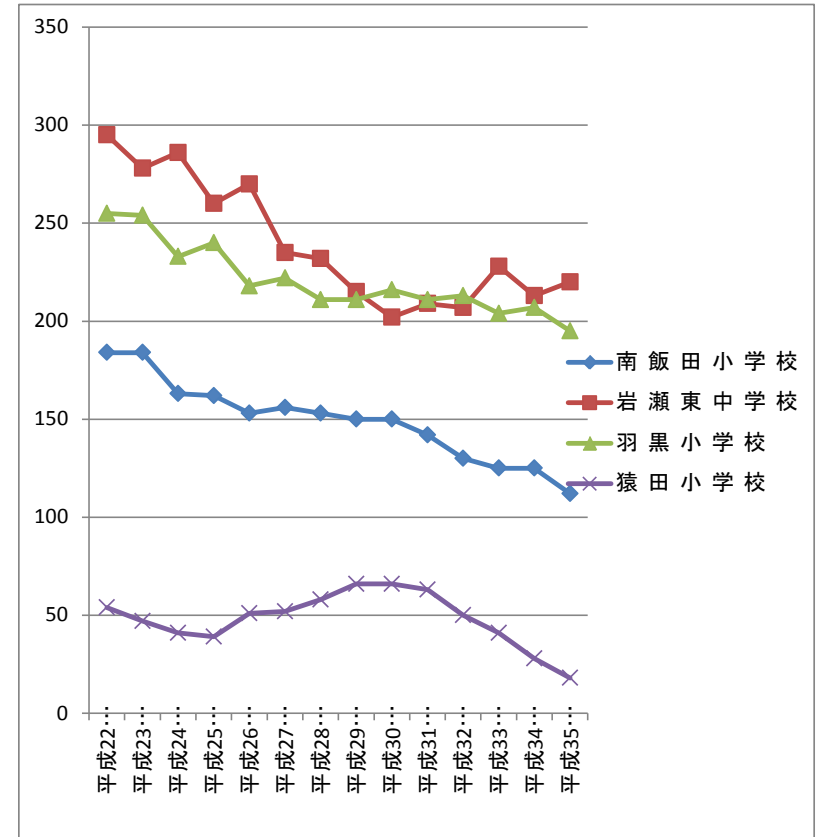
# 岩瀬東中学校区、児童・生徒数推移表

	南 飯 田 小 学 校						小計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
平成22年度	22	19	41	29	42	31	184
平成23年度	34	21	18	41	29	41	184
平成24年度	20	34	21	18	41	29	163
平成25年度	28	20	34	21	18	41	162
平成26年度	32	28	20	34	21	18	153
平成27年度	21	32	28	20	34	21	156
平成28年度	18	21	32	28	20	34	153
平成29年度	31	18	21	32	28	20	150
平成30年度	20	31	18	21	32	28	150
平成31年度	20	20	31	18	21	32	142
平成32年度	20	20	20	31	18	21	130
平成33年度	18	18	20	20	31	18	125
平成34年度	18	18	18	20	20	31	125
平成35年度	18	18	18	18	20	20	112
平成36年度	18	18	18	18	18	20	110
平成37年度	17	18	18	18	18	18	107
平成38年度	17	17	18	18	18	18	106
平成39年度	17	17	17	18	18	18	105
平成40年度	16	17	17	17	18	18	103

	岩 瀬 東 中 学 校				小計	児童生徒数 合計
	1年生	2年生	3年生			
平成22年度	97	92	106		295	788
平成23年度	88	97	93		278	763
平成24年度	102	87	97		286	723
平成25年度	71	102	87		260	701
平成26年度	97	71	102		270	692
平成27年度	67	97	71		235	665
平成28年度	68	67	97		232	654
平成29年度	80	68	67		215	642
平成30年度	54	80	68		202	634
平成31年度	75	54	80		209	625
平成32年度	78	75	54		207	600
平成33年度	75	78	75		228	598
平成34年度	60	75	78		213	573
平成35年度	85	60	75		220	545
平成36年度	59	85	60		204	519
平成37年度	59	59	85		203	507
平成38年度	53	59	59		171	469
平成39年度	54	53	59		166	456
平成40年度	50	54	53		157	442

	羽 黒 小 学 校						小計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
平成22年度	36	40	52	30	51	46	255
平成23年度	42	38	38	52	33	51	254
平成24年度	30	42	38	38	52	33	233
平成25年度	40	30	42	38	38	52	240
平成26年度	30	40	30	42	38	38	218
平成27年度	42	30	40	30	42	38	222
平成28年度	27	42	30	40	30	42	211
平成29年度	42	27	42	30	40	30	211
平成30年度	35	42	27	42	30	40	216
平成31年度	35	35	42	27	42	30	211
平成32年度	32	35	35	42	27	42	213
平成33年度	33	32	35	35	42	27	204
平成34年度	30	33	32	35	35	42	207
平成35年度	30	30	33	32	35	35	195
平成36年度	29	30	30	33	32	35	189
平成37年度	29	29	30	30	33	32	183
平成38年度	28	29	29	30	30	33	179
平成39年度	27	28	29	29	30	30	173
平成40年度	27	27	28	29	29	30	170

	猿 田 小 学 校						小計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
平成22年度	9	11	4	9	10	11	54
平成23年度	4	9	11	4	9	10	47
平成24年度	4	4	9	11	4	9	41
平成25年度	7	4	4	9	11	4	39
平成26年度	16	7	4	4	9	11	51
平成27年度	12	16	7	4	4	9	52
平成28年度	15	12	16	7	4	4	58
平成29年度	12	15	12	16	7	4	66
平成30年度	4	12	15	12	16	7	66
平成31年度	4	4	12	15	12	16	63
平成32年度	3	4	4	12	15	12	50
平成33年度	3	3	4	4	12	15	41
平成34年度	2	3	3	4	4	12	28
平成35年度	2	2	3	3	4	4	18
平成36年度	2	2	2	3	3	4	16
平成37年度	2	2	2	2	3	3	14
平成38年度	2	2	2	2	2	3	13
平成39年度	2	2	2	2	2	2	12
平成40年度	2	2	2	2	2	2	12

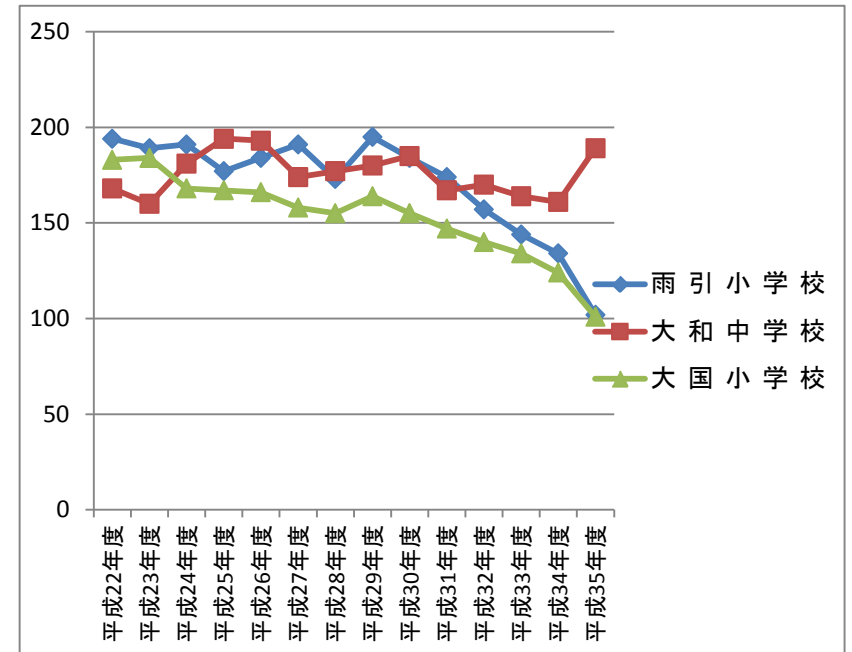


# 大和中学校区、児童・生徒数推移表

	雨引小学校						小計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
平成22年度	46	21	28	42	29	28	194
平成23年度	25	44	22	27	42	29	189
平成24年度	31	25	44	22	27	42	191
平成25年度	28	31	25	44	22	27	177
平成26年度	34	28	31	25	44	22	184
平成27年度	29	34	28	31	25	44	191
平成28年度	26	29	34	28	31	25	173
平成29年度	47	26	29	34	28	31	195
平成30年度	20	47	26	29	34	28	184
平成31年度	18	20	47	26	29	34	174
平成32年度	17	18	20	47	26	29	157
平成33年度	16	17	18	20	47	26	144
平成34年度	16	16	17	18	20	47	134
平成35年度	15	16	16	17	18	20	102
平成36年度	15	15	16	16	17	18	97
平成37年度	14	15	15	16	16	17	93
平成38年度	14	14	15	15	16	16	90
平成39年度	14	14	14	15	15	16	88
平成40年度	13	14	14	14	15	15	85

	大和中学校				児童生徒数合計
	1年生	2年生	3年生	小計	
平成22年度	57	50	61	168	545
平成23年度	53	56	51	160	533
平成24年度	72	53	56	181	540
平成25年度	69	72	53	194	538
平成26年度	52	69	72	193	543
平成27年度	53	52	69	174	523
平成28年度	72	53	52	177	505
平成29年度	55	72	53	180	539
平成30年度	58	55	72	185	524
平成31年度	54	58	55	167	488
平成32年度	58	54	58	170	467
平成33年度	52	58	54	164	442
平成34年度	51	52	58	161	419
平成35年度	86	51	52	189	392
平成36年度	38	86	51	175	371
平成37年度	36	38	86	160	349
平成38年度	34	36	38	108	292
平成39年度	33	34	36	103	283
平成40年度	31	33	34	98	275

	大國小学校						小計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
平成22年度	30	33	24	26	42	28	183
平成23年度	30	28	31	25	27	43	184
平成24年度	27	30	28	31	25	27	168
平成25年度	26	27	30	28	31	25	167
平成26年度	24	26	27	30	28	31	166
平成27年度	23	24	26	27	30	28	158
平成28年度	25	23	24	26	27	30	155
平成29年度	39	25	23	24	26	27	164
平成30年度	18	39	25	23	24	26	155
平成31年度	18	18	39	25	23	24	147
平成32年度	17	18	18	39	25	23	140
平成33年度	17	17	18	18	39	25	134
平成34年度	15	17	17	18	18	39	124
平成35年度	16	15	17	17	18	18	101
平成36年度	16	16	15	17	17	18	99
平成37年度	15	16	16	15	17	17	96
平成38年度	15	15	16	16	15	17	94
平成39年度	15	15	15	16	16	15	92
平成40年度	15	15	15	15	16	16	92



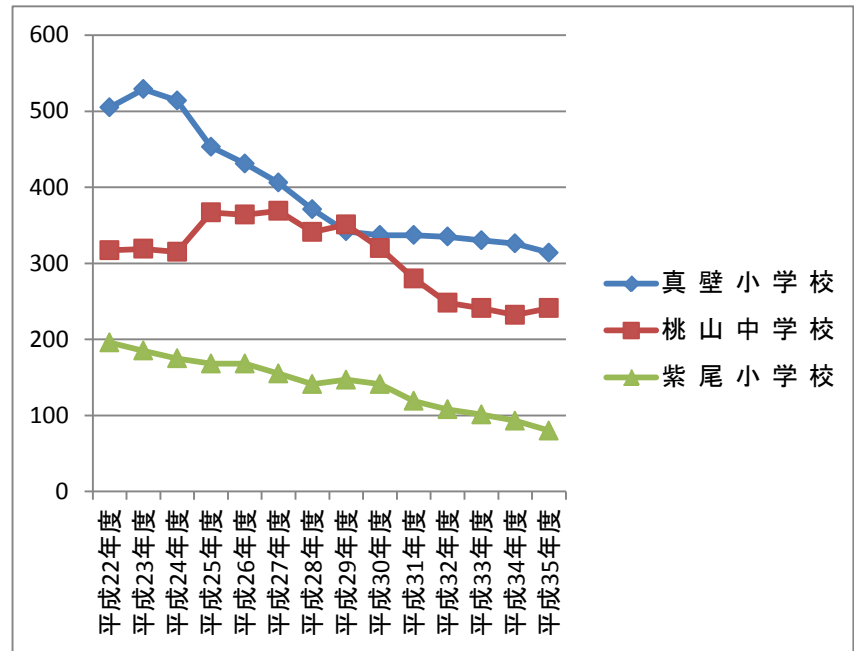


# 桃山中学校区、児童・生徒数推移表

	真壁小学校						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計
平成22年度	91	75	78	113	77	71	505
平成23年度	92	91	80	76	113	77	529
平成24年度	62	92	91	80	76	113	514
平成25年度	52	62	92	91	80	76	453
平成26年度	54	52	62	92	91	80	431
平成27年度	55	54	52	62	92	91	406
平成28年度	56	55	54	52	62	92	371
平成29年度	63	56	55	54	52	62	342
平成30年度	57	63	56	55	54	52	337
平成31年度	52	57	63	56	55	54	337
平成32年度	52	52	57	63	56	55	335
平成33年度	50	52	52	57	63	56	330
平成34年度	52	50	52	52	57	63	326
平成35年度	51	52	50	52	52	57	314
平成36年度	50	51	52	50	52	52	307
平成37年度	50	50	51	52	50	52	305
平成38年度	49	50	50	51	52	50	302
平成39年度	47	49	50	50	51	52	299
平成40年度	46	47	49	50	50	51	293

	桃山中学校				児童生徒 数合計
	1年生	2年生	3年生	小計	
平成22年度	104	111	102	317	1,018
平成23年度	104	103	112	319	1,033
平成24年度	108	104	103	315	1,004
平成25年度	155	108	104	367	988
平成26年度	101	155	108	364	963
平成27年度	113	101	155	369	930
平成28年度	127	113	101	341	853
平成29年度	111	127	113	351	840
平成30年度	82	111	127	320	798
平成31年度	87	82	111	280	736
平成32年度	79	87	82	248	691
平成33年度	75	79	87	241	672
平成34年度	78	75	79	232	651
平成35年度	88	78	75	241	635
平成36年度	71	88	78	237	622
平成37年度	65	71	88	224	606
平成38年度	66	65	71	202	579
平成39年度	63	66	65	194	566
平成40年度	66	63	66	195	558

	紫尾小学校						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計
平成22年度	34	34	25	41	30	32	196
平成23年度	19	36	33	25	42	30	185
平成24年度	20	19	36	33	25	42	175
平成25年度	35	20	19	36	33	25	168
平成26年度	25	35	20	19	36	33	168
平成27年度	20	25	35	20	19	36	155
平成28年度	22	20	25	35	20	19	141
平成29年度	25	22	20	25	35	20	147
平成30年度	14	25	22	20	25	35	141
平成31年度	13	14	25	22	20	25	119
平成32年度	14	13	14	25	22	20	108
平成33年度	13	14	13	14	25	22	101
平成34年度	14	13	14	13	14	25	93
平成35年度	12	14	13	14	13	14	80
平成36年度	12	12	14	13	14	13	78
平成37年度	12	12	12	14	13	14	77
平成38年度	12	12	12	12	14	13	75
平成39年度	11	12	12	12	12	14	73
平成40年度	11	11	12	12	12	12	70

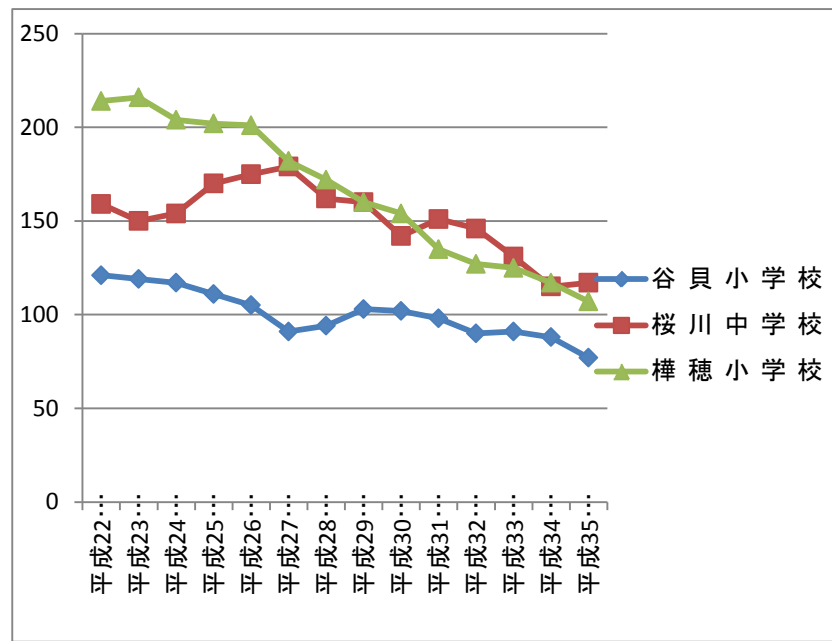


# 桜川中学校区、児童・生徒数推移表

	谷 貝 小 学 校						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計
平成22年度	12	27	27	24	19	12	121
平成23年度	13	11	26	26	24	19	119
平成24年度	17	13	11	26	26	24	117
平成25年度	18	17	13	11	26	26	111
平成26年度	20	18	17	13	11	26	105
平成27年度	12	20	18	17	13	11	91
平成28年度	14	12	20	18	17	13	94
平成29年度	22	14	12	20	18	17	103
平成30年度	16	22	14	12	20	18	102
平成31年度	14	16	22	14	12	20	98
平成32年度	12	14	16	22	14	12	90
平成33年度	13	12	14	16	22	14	91
平成34年度	11	13	12	14	16	22	88
平成35年度	11	11	13	12	14	16	77
平成36年度	11	11	11	13	12	14	72
平成37年度	11	11	11	11	13	12	69
平成38年度	10	11	11	11	11	13	67
平成39年度	10	10	11	11	11	11	64
平成40年度	10	10	10	11	11	11	63

	桜 川 中 学 校				児童生徒 数合計
	1年生	2年生	3年生	小計	
平成22年度	47	55	57	159	494
平成23年度	49	47	54	150	485
平成24年度	58	49	47	154	475
平成25年度	63	58	49	170	483
平成26年度	54	63	58	175	481
平成27年度	62	54	63	179	452
平成28年度	46	62	54	162	428
平成29年度	52	46	62	160	423
平成30年度	44	52	46	142	398
平成31年度	55	44	52	151	384
平成32年度	47	55	44	146	363
平成33年度	29	47	55	131	347
平成34年度	39	29	47	115	320
平成35年度	49	39	29	117	301
平成36年度	37	49	39	125	300
平成37年度	32	37	49	118	288
平成38年度	31	32	37	100	265
平成39年度	28	31	32	91	254
平成40年度	28	28	31	87	247

	榑 穂 小 学 校						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計
平成22年度	34	35	27	39	39	40	214
平成23年度	39	35	36	28	39	39	216
平成24年度	27	39	35	36	28	39	204
平成25年度	37	27	39	35	36	28	202
平成26年度	27	37	27	39	35	36	201
平成27年度	17	27	37	27	39	35	182
平成28年度	25	17	27	37	27	39	172
平成29年度	27	25	17	27	37	27	160
平成30年度	21	27	25	17	27	37	154
平成31年度	18	21	27	25	17	27	135
平成32年度	19	18	21	27	25	17	127
平成33年度	15	19	18	21	27	25	125
平成34年度	17	15	19	18	21	27	117
平成35年度	17	17	15	19	18	21	107
平成36年度	17	17	17	15	19	18	103
平成37年度	16	17	17	17	15	19	101
平成38年度	16	16	17	17	17	15	98
平成39年度	16	16	16	17	17	17	99
平成40年度	15	16	16	16	17	17	97



桜川市近隣市町村小中学校適正規模配置等計画（抜粋）

H24.8

市町村名 (策定年月)	適正規模・配置計画（抜粋）								
	適正規模について		適正配置について		小学校計画		中学校計画		
	小学校	中学校	小学校	中学校	再編前	再編後	再編前	再編後	
笠間市 (平成24年2月)	児童生徒数/1学級		<ul style="list-style-type: none"> <li>複式学級の解消を最優先し、適正規模に達しないことが予想される学校を対象とする</li> <li>学校の新設による統合は行わず、旧市町にこだわらない通学区の見直しを行う</li> <li>統合が困難な場合は、小中併設とする</li> </ul>	第1段階（準備が整い次第）					
	最大30人 (平均24人程度) ・20人未満を集団構成の限界と定義付けた。	最大35人 (平均30人程度)		東小、佐城小、箱田小、笠間小	笠間小に統合	笠間中、東中	笠間中に統合		
	学級数/学年			第2段階（段階的に実施）					
	2~3学級/学年 (12~18学級)	3学級以上/学年 (9学級以上)		新入児童数が20人に達しないと判断される見直しを開始	笠間地区3校の小学校を2又は1校にしてい	現時点での笠間地区の中学校4校	将来的に笠間中に統合		
下妻市 (平成24年3月)	児童生徒数/1学級		小学校	中学校	第1段階（準備が整い次第）				
	1学級40人以下 ・複式学級の学校、15人/学年の学校は統合の対象とする。	1学級40人以下	-	-	蚕飼小、宗道小	宗道小に統合	現時点では千代川中1学年3学級、東部中1学年4学級、下妻中1学年7学級であることから適正規模である。		
	学級数/学年		第2段階（段階的に実施）						
	2学級以上/学年 (12学級以上)	3学級以上/学年 (9学級以上)	・複式学級の学校、15人/学年の学校は統合の対象とする		各中学校が適正規模を下回った場合、改めて検討する。				
つくば市 (平成21年3月)	児童生徒数/1学級		小学校	中学校	第1段階（準備が整い次第）				
	1学級40人以下	1学級40人以下	市全体としては、過小化と過大化する学校が見込まれる地域ごとにゾーニングし、段階的に、統合、学区調整、分割、新設を検討する	TX開発に伴う新設、学区再編及び生徒数の減少が続く学校の、統合及び学区再編の想定される学区の維持を図り、小中一貫型教育校化を検討する	大形小、小田小、山口小、北条小 ・過小規模校化が進行した場合	小田小に統合済み 北条小に統合 ・隣接校と統合	学区調整、学区分割		
	学級数/学年		第2段階（段階的に実施）						
	2~3学級/学年 (12~18学級以上)	4~6学級以上/学年 (12~18学級以上)	小学校区の過小規模校化が進行し、学区維持が図れず統合が想定された場合、小中一貫型教育校化を検討。また、学区調整、学区分割、学区新設等も検討						
石岡市 (平成21年3月)	児童生徒数/1学級		小学校	中学校	適正配置計画（案）を提示				
	1学級40人以下	1学級40人以下	・適正規模を下回る小規模校を統合による適正配置を検討する。 ・通学区の見直し ・スクールバス等による安全対策を配慮。		統合の期間：平成21年度から平成30年度までの10年間を目安とする。 統合の時期：優先度を決定し、学校状況、社会情勢、地域の実状により対応				
	学級数/学年		高浜小、三村小、関川小 府中小、北小 園部小、東成井小 瓦会小、恋瀬小 林小、葦穂小 吉生小、柿岡小 小幡小、小桜小 石岡小、東小 南小、杉並小				高浜小に統合 府中小に統合 園部小に統合 恋瀬小に統合 柿岡小に統合 小桜小に統合 単独校として存続	石岡中、城南中 府中中、国府中 有明中、柿岡中、八郷南中 園部中	石岡中に統合 府中中に統合 柿岡中に統合 当面は単独校
	2~3学級/学年 (12~18学級以上)	4~6学級以上/学年 (12~18学級以上)							
行方市 (平成21年2月)	児童生徒数/1学級		小学校	中学校	適正配置計画（案）を提示				
	1学級40人以下	1学級40人以下	・市内を4ブロック化し、既存18校あった小学校を4校に統廃合する。 ・4kmを超える場合は、スクールバス通学とする。（低学年と高学年で距離基準を検討）	・市内を3ブロック化し、既存4校あった中学校を3校に統廃合する。 ・6km以内を徒歩又は自転車、6kmを超える場合は、スクールバス通学とする。（方法の選択は保護者の判断による）	計画期間：平成21年度から平成30年度までの10年間を目安とする。				
	学級数/学年		太田小、大和一小、八木一、八木二小 麻生小、行方小、小高小 津澄小、要小、武田小 小貫小、三和小 羽生小、玉造西小 現原小、玉川小 玉造小、手賀小				麻生一中跡を活用し、統合新校 麻生小に統合新校 津澄小に統合新校 玉造運動場に統合新校	麻生中、麻生一中 北浦中 玉造中	麻生運動場に統合新校 単独校として存続 単独校として存続
	2学級以上/学年 (12学級以上)	3学級以上/学年 (9学級以上)							
常陸大宮市 (H19.11 広報掲載)	児童生徒数/1学級		小学校	中学校	H21~H30の10年間での適正配置実施計画（H20.9広報掲載）				
	1学級40人が基本 ・1学級概ね20人以上	1学級40人が基本 ・1学級概ね30人以上	・小規模校等となる小学校は、適正規模を満たすよう条件などを考慮した上で適正に配置する。 また、遠距離となる場合は、スクールバスなどによる通学支援を検討する	・小学校学区を基本とした統廃合による適正配置を行います。 遠距離通学となる場合は、スクールバスなどによる通学支援を検討する。	前期（5年間）：複式学級の解消及び小規模校化の著しい小学校の再編（19→11校） 後期（5年間）：小規模校化の著しい中学校の再編（7→4校）				
	学級数/学年		前期（H21~H25）				後期（H26~H30）		
	1~3学級程度/学年 (6~16学級)	2~5学級程度/学年 (6~15学級)	村田小、小場小 上野小 大宮小、世喜小 大賀小 玉川小、塩田小 大場小、大宮西小 山方小 山方南小 檜沢小、薩郷小 小瀬小、八里小 伊勢畑小、野口小、長倉小	村田小に統合 現状維持 大宮小に統合 現状維持 玉川小に統合 ※1 大宮西小に統合 現状維持 ※2 薩郷小に統合 小瀬小 御前山小として統合新校	大宮中、第一中 第二中 山方中 美和中、緒川中、御前山中 緒川中に統合	大宮中に統合 現状維持 ※3 現状維持 ※4 緒川中に統合	現在の校舎の活用と施設規模を踏まえた学級編成を前提とします。 ※1、2 将来、児童数減少に応じた統合の検討が必要 ※3、4 将来、生徒数減少に応じた統合の検討が必要		
城里町 (H19.10 広報掲載)	児童数/1学級		小学校	中学校	小学校再編実施計画を提示				
	学級数/学年		〈常北地区〉 石塚小、小松小、青山小、古内小 2校に						
	1学級以上/学年 (6学級以上)		〈桂地区〉 坏小、岩舟小、北方小、沢山小 2校に						
				〈七会地区〉 七会東小、七会西小 1校に					

桜川市 5 中学校区ごとの主な小中連携（交流）の実際

中学校区	岩瀬東中学校区 ・南飯田小学校 ・羽黒小学校 ・猿田小学校	岩瀬西中学校区 ・岩瀬小学校 ・坂戸小学校	大和中学校区 ・雨引小学校 ・大國小学校	桃山中学校区 ・真壁小学校 ・紫尾小学校	桜川中学校区 ・谷貝小学校 ・樺穂小学校
○学習指導連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中連携協議会</li> <li>●中1対象授業参観及び情報交換</li> <li>●交流授業（羽黒小と猿田小）</li> <li>●出前授業（中→小）（英・音・美・理）</li> <li>●授業相互参観（理科，外国語活動）</li> <li>●学習の手引き，仕方のすり合わせ</li> <li>●小6対象の授業参観</li> <li>●英語インタラクティブ合同練習会（中中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏季小中合同研修会／懇親会</li> <li>●出前授業（体育）陸上顧問が小学校陸上練習のために指導</li> <li>●授業参観（中1，小6）</li> <li>●学習のきまり・手引きの見直し</li> <li>●教職員の実技研修会（図工）</li> <li>●小6総合による幼稚園への読み聞かせ</li> <li>●英語インタラクティブ合同練習会（中中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中連携協議会研修会（5月／8月）</li> <li>●相互授業参観（小・小）（小・中）</li> <li>●学習面でのすり合わせ ・学習の手引き ・学習のきまり ・家庭学習の手引き</li> <li>●外国語活動への交流</li> <li>●英語インタラクティブ合同練習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏季小中連携研修会／懇親会</li> <li>●相互授業参観</li> <li>●学習規律（小・中）</li> <li>●生活のきまり，学習規律のすり合わせ ※共通理解へ</li> <li>●高校との授業参観（道徳）</li> <li>●外国語活動訪問参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏季合同研修会／懇親会</li> <li>●相互授業参観</li> <li>●学習のきまり，家庭学習の手引きの共有（小・中）（小・小）</li> <li>●高校との授業参観（道徳）</li> </ul>
○生徒指導連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出身小学校へ出向いてのあいさつ運動（中学生→小学校）</li> <li>●特別支援及び配慮を要する子についての情報交換</li> <li>●各体育祭，文化祭での生徒指導上の行動連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報交換</li> <li>●学級編制会議</li> <li>●あいさつ運動 中学生→小学校へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あいさつ運動（中学生→母校へ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒指導連絡協議会情報交換（小6の配慮を要する児童の情報交換）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3校合同情報交換会</li> <li>●前担任による中一授業参観及び情報交換</li> <li>●小6児童についての情報交換会</li> <li>●あいさ運動（中→小）</li> </ul>
○体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職場体験（学びの広場）</li> <li>●岩瀬高看護科生徒による運動会時の救護実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職業体験（学びの広場でのサポーター）</li> <li>●仲よし会の実施（幼・保・小の交流）</li> <li>●岩瀬高校看護科による運動会時の救護実習</li> <li>●小2による幼稚園訪問（坂戸小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大和中1年生が小学校に出向いての学校説明会（2月）</li> <li>●職場体験（学びの広場）</li> <li>●社会浄化運動による合同環境浄化活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職業体験（学びの広場）</li> <li>●保育実習（幼・中）</li> <li>●小学校運動会時における中学生のお手伝い</li> <li>●吹奏楽やマーチング演奏の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職場体験（学びの広場）</li> <li>●部活動参観</li> <li>●幼，保の小学校体験入学</li> <li>●小学校運動会時における中学生のお手伝い</li> </ul>
○学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新入生学校説明会</li> <li>●猿田フェスティバルへの新入児紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校運動会への中学生によりボランティア活動（中→小）</li> <li>●陸上記録会練習指導（中→小）</li> <li>●新入生学校説明会</li> <li>●文化祭への小学生招待</li> <li>●坂戸フェスティバル招待（幼・小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校運動会への中学生によりボランティア活動（中→小）</li> <li>●幼・小交流（2月）</li> <li>●新入生学校説明会（幼・小）（小・中） ・授業参観 ・部活参観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桃中吹奏楽コンサート招待（中・小）</li> <li>●新入生学校説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校運動会への中学生によりボランティア活動（中→小）</li> <li>●立志のつどいでの生徒会役員同士の交流</li> </ul>
○安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随時情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随時情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随時情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随時情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随時情報交換</li> </ul>
○その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校だよりのコーナーの設置（小・中）</li> <li>●他校の学校関係者評価委員会への教頭の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校だよりコーナーの設置（小・中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学級編制と情報交換（幼・小）（小・中）</li> <li>●各学校だよりコーナーの設置（小・中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校だよりコーナーの設置（小・中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校だよりコーナーの設置（小・中）</li> </ul>

## 小中連携・一貫教育実施の背景

- 1) 少子化に伴う大学進学率の上昇などを背景に、国民全体のニーズが多様化していることから、創意工夫を生かした特色ある教育が求められている。
- 2) 様々な社会状況の変化により、児童生徒の課題が多様化、複雑化している。連携なしには指導が難しい実態がある。
- 3) 少子化、校舎の老朽化に伴う、統廃合の必要性がある。

## 小中一貫校の施設の設置形態

類 型	内 容
連携型 (施設分離型)	●小・中学校が離れた場所に設置された小中学校で、それぞれの学校施設や組織・運営を維持しながら、カリキュラムや教育目標に一貫性をもたせ、互いに連携を図りながら教育活動を実施する。
隣接型 (併設型)	●小・中学校が壁で隣接、道路1本で隔てられた隣接する小中学校で、カリキュラムや教育目標に一貫性をもたせ、学校行事を合同で実施することにより、一体感のある教育活動を実施する。
施設一体型	●同一校舎内に各ブロックの教室があり、組織運営は、校長を中心に、小中学校の教職員が一体となって教育活動を実施する。 ※ 新築 or 既存の施設の改築

## 施設一体型小中一貫校の教育（例）

校 種 学 年	小学校				小学校		中学校	中学校	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
指導区分	前 期 (基礎基本期)				中 期 (充実期)			後 期 (発展期)	
指導体制	学級担任制				学級担任制・教科担任制 (段階的導入)			教科担任制	
確かな学力	基礎基本の習得・定着				基礎基本の定着・活用			基礎基本の 活用・応用	
健やかな体	様々な動きを身に付ける				多くのスポーツを体験する。			スポーツに親しむ	
豊かな心	自然や美しいものに感動する心や規範意識の育成				自他の尊重や他者への思いやりなどの涵養			社会の一員として自立した生活を営む力の育成	